

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2015年度 第4回 常任理事会議事録

日 時：2015年 4 月 14 日（火）19：00～22：30

場 所：コンセーレ JCルーム

出席者：

- （ 理 事 長 ）：須山（敬称省略 以下同）  
（ 副 理 事 長 ）：澤畑、福田（之）、太城（遅参）、廣田  
（ 専 務 理 事 ）：金  
（ 監 事 ）：黒川  
（ 担 当 常 任 理 事 ）：羽石、飯野、鈴木、  
（ 日 本 J C 関 係 特 別 委 員 長 ）：亀井  
（ 会 員 拡 大 会 議 議 長 ）：小瀧  
（ 法 令 会 計 審 査 局 局 長 ）：豊崎  
（ 事 務 局 長 ）：飯沼

1. 開会宣言 <金>（役職名省略 以下同）  
2. JCI クリード唱和 <豊崎>  
3. JCI ミッション並びにJCI ビジョン唱和 <飯沼>  
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <小瀧>  
5. 関東地区宣言唱和 <飯野>  
6. 出席者の確認 <飯沼>  
7. 議事録作人の指名 議 事 録 <総務委員会>

8. 前回議事録の確認

<金>

9. 議題並びに資料の確認

<飯沼>

10. 理事長挨拶

<須山>

皆さんこんばんは。あいにくの天気もあり、どんよりとした雰囲気もありますが、今日も元気な常任理事会を開催できればと思っております。また、総務委員会、渉外委員会の皆さん、早くから設営ありがとうございます。昨日は全国大会招致会議がありまして、連日になっている方がほとんどだと思います。大変お疲れ様です。全国大会も人間関係を読み込む、そして、模擬的な対話集会というところにも少しずつ入ってきているところであり、少しずつではありますが、準備をしっかりと進めていかなければいけないと思っておりますし、また、3月の埼玉中央J Cの対話集会にも常任理事を中心に多くの皆様の参加、またオブザーブしていただいたこと、感謝申し上げます。いろいろ感じた部分は昨日もお伝えし重複しますので、割愛させていただきます。3月の例会について研修委員会を中心とし、皆様の動員のご協力もいただき、1369名ということで、宇都宮J C始まって以来の動員を成すことができました。非常に私たちにとって、この数字は自信を深めるのではないかなと思います。1000人超えをいつもめざしてはいましたが、なかなかその壁を越えられませんでした。研修委員会は見事、1300人という目標を超えました。素晴らしいなと思っております。次の例会もありますし、いい部分悪い部分しっかりと検証を進めてください。非公式ではありましたが、お花見を正副プレゼンツでやらせていただきました。一つ感じたのは、拡大の方が結構参加してもらいました。私自身が入会した当初、先輩たちとの交流が結構ありました。ここ最近あまりそういう機会がないので、そういう設えもこれからは必要だと思っております。現在13名、今月2名認証と聞いていますので、現在のところ、15名です。入会したてでは、何をしたらいいかなど、わからないことが多いと思っておりますので、先輩たちとの交流を企画していただきたいです。正副の中で、委員会への指導というのが出ました。どのように委員長、副委員長に対して議案に関して指導していますかという質問に対して、結構意見が分かれました。それぞれ育ってきた、体験してきた環境が違って、バラバラしていましたが、一番うまく伝えられるのは、思ったとおりの議案が上がって来ないということで、そこをどう改善していかなければいけないかを、少し話し合いました。やはり、電話、メール、ライン、こういったものでは、なかなか伝えにくいのではないかという話にいきました。私も委員長、副委員長を経験させていただいて、議案作成はあまり得意ではなかったのですが、常任や副委員長に来ていただき、隣で教えてもらいました。2時間、3時間、膝を突き合わせながら指導してもらったというのが一番手取り早くできました。その部分が足りないのかと感じました。メールや電話

は楽なのかもしれません。人材育成というのもテーマに上げさせていただいているわけですから、しっかり時間を取ってもらって、委員長の自主性など飛び越えず尊重し、隣でそっと成長を見守る。それが皆さんの役目だと思います。忙しいとは思いますが、人と人との接し方という部分にも心を置いていただいて委員長や副委員長に接してください。長くなりましたが、本日の常任理事会もどうぞよろしくお願いいたします。

### 1 1. 直前理事長挨拶

公務にて欠席のため割愛

### 1 2. 役員報告

<金> 報告事項のある方、挙手にて報告をお願いします。

4月20日ブロック事業、ご案内もいっているとは思いますが、倉持委員長の事業ですので、多くのメンバーの出席をお願いいたします。渉外委員会より出席の確認がいきます。4月28日火曜日、広島JC現地調査対話集会でございます。こちら是非スケジュールを調整していただき、多くのメンバーの参加をお願いいたします。こちら出席の確認を取らせていただきます。5月2日ブロック憲法事業、ご案内してあるとおりでございます。4月20日までに渉外委員会より出欠の確認を取らせていただきます。9時30分集合、10時開始、15時終了でございます。場所は道の駅宇都宮です。5月7日木曜日18時、いたやにて市長との食事会を開催いたします。理事会構成メンバーの皆様には是非とも参加をお願い致します。5月15日金曜日宇都宮JCジャガイモゴルフ、こちら多くのメンバーの参加をお願いいたします。こちら渉外委員会より後日確認を取らせていただきます。

### 1 3. 協議事項

<金> 協議事項7番、その他をお持ちの方はいらっしゃいますか。無きようですので、本日の協議事項は1番から6番とさせていただきます。

#### 協一 1 2月市長例会 開催報告並びに決算承認(案) について

飯野常任により資料の読み上げ

<鈴木> 今回の市長例会にビジターさんが参加してみて、どのように思ったのかとか、直接お話はありませんでしたか。

<飯野> 全国大会招致委員会の方でビジターさんとは個別にアポイントを取ってはお

りませんので、小瀧委員長より、そのあたりをお聞きできたらと思います。

<小瀧> 後日聞いたところ、説明はしてくれていても、いっているとは正直わからなかったというのがビジターさんの本音です。ただその反面、宇都宮市長は話がうまいですね。などとは伺っています。ですので、ビジターさんが来て、いきなり日本 J C の会頭の話は分かりづらかったと思います。

<鈴木> ビジター動員をかけやすい例会でもありますので、次年度引継ぎ事項で、こういう風なものもあるというようなことを引継ぎ事項に乗せてもいいと思います。

<須山> 市長からの話で、市長は大変喜んでくれていました。

協一 2 5月PR事業 開催計画並びに予算（案）

飯沼事務局長より資料の読み上げ

<鈴木> フェイスブックのスマイルキャンペーンのページの説明文の中に、自由にコメントできますとありますが、何を書いてもらうのですか。

<飯沼> 当日、登録していただき、そこで自由に登録していただいた方に投稿していただき、盛り上げようというところでもあります。その後、展示でいろいろなところを回りますが、当日実際に参加された方がみに行って、その前で写真を撮って、それを投稿してもらったりすることで、フェイスブック自体の認知数や、いいね、の数を増やして、認知を図って行きたいと思っています。

<鈴木> ちなみに、このページを立ち上げなくても、これって宇都宮 J C の P R 事業ですので、直接宇都宮 J C のページにいいね、をしてもらい、みてもらった方がいいのではありませんか。

<飯沼> 宇都宮 J C のフェイスブックもありますが、このスマイルキャンパスに参加しない方が沢山いらっしゃるかと思われます。また、今回一つの検証方法の 1 つとして、この専用フェイスブックを立ち上げました。あくまで、この事業に参加していただいた方に登録していただいて、そこから波及する認知の効果を検証したいということで個別に立ち上げるとなった次第であります。また、個別に立ち上げることによって、いいね、をしなくても検証が可能に

なります。

<羽石> アンケートの、最初の質問で、宇都宮 J C がどのような団体かを理解することができましたか、とありますが、スマイルキャンパスと宇都宮 J C のハンドブックの配布の 2 点で理解してもらおうという認識でよろしいですか。

<飯沼> はい、当日はそのような認識でよろしいです。

<羽石> アンケート担当の委員会もあったと思いますが、簡単な説明ができるよう、検討お願い致します。

<飯野> J C ガイドとは、資料のどれにあたるのでしょうか。

<飯沼> J C ガイドは 3 月例会で配ったリーフレットを配る予定です。

<飯野> 添付資料にのせた方がいいと思います。

<中島> 検証報告でアンケートとフェイスブックで検証するとありますが、アンケートとフェイスブックで何を検証するのか書かれてないから、わかりづらいのだと思います。そこを明記してください。

<亀井> フェイスブックのページをみると、J C の名前の記載がないのはなぜですか。

<飯沼> このページまで来る間に J C という名前をみていただけるようにはしたいと考えております。

<鈴木> 展示場所の場所と期間が書いてありますが、展示場所の打ち合わせなどはできていますか。

<飯沼> 全て完了しております。

<須山> よくここまで作り上げてくれました。気になるのが、5 月 17 日は J C サッカー一部が動いているということで、時間はかぶっていないか心配なのですが、時間はわかりますか。かぶらないようにしてもらおうといいです。調整してください。

協一3 6月法令会計例会 開催計画並びに予算（案）

豊崎局長より資料の読み上げ

<鈴木> 市民一人ひとりの成長とは、宇都宮市民全員の成長と捉えてよろしいですか。

<豊崎> はい、全体ととらえていただいて結構です。

<中島> 背景が背景でない気がします。たとえば、売上を上げる計画を立てるとき、背景には事業で過去3年売りが下がっているとか書く。だから、売りを上げる起死回生のプロジェクトを打つという議案になります。そうになると、この背景でいうと、なぜ人材を輩出するかということを書かなければいけません。この背景は目的っぽくみえます。

<豊崎> この背景のスタート部分の魅力ある街へ発展させていくためには、という部分が現状という意味で、そのために人材育成が必要と簡単にシンプルにまとめました。

<中島> 魅力ある街へ発展させなければいけない現状とはなんですか。ということですよ。今、現状、宇都宮の魅力がない現状だとするならば、それを、ここの背景に書かなければいけないということですよ。

<豊崎> 背景に市民の当事者意識の低さということを記載させていただきます。

<飯野> 背景と目的から奉仕にどうつながっていくのかというストーリーがみえにくいので、そのあたりの説明をください。

<豊崎> 人材の創出、資質の向上ということで計画をさせていただいております。社会を変える人材ということで、手法にもなりますが、リーダーシップに着眼し計画をしています。社会を変える人材、資質の向上というところで、こちらの手法を取り入れ計画しております。

<小瀧> この田中康広さん、孫子の研究家が沢山いる中で、この方に行き着いた経緯を教えてください。

<豊崎> 講師の選定の理由は、孫子の兵法が理由ではなく、リーダーの心構え、リー

ダーシップの心構え、戦略という点での学びというところで、講師の選定をしています。その中でリーダーシップを学ぶツールとして孫子の兵法が一番適していると判断し、こちらの手法を持ち寄らせていただいております。

<小瀧> 組織のリーダーシップのために、この講師の方を選んだのであれば、目的と少し違う感じがします。もう少し事業要綱を確認してください。

<羽石> スケジュールについての質問です。チラシ配布はどのように考えていますか。

<豊崎> 審議協議後の配布予定です。

<羽石> 講演をいただく意味が、目的が何なのか、あまりみえませんが、もしもスケジュールが厳しいのであれば、審議をとった時点でチラシ配りを、そこまで考えて、人集めの方法を委員会の中で決めておいた方がいいと思います。

<鈴木> 講師選定のところで、2番3番4番をみると、スケジュールによってとありますが、だから孫子になったという理由になったのではないかとありますので、スケジュールの面というところを全部削除し、今回の例会にこの講師がっているという文面にした方がいいと思います。

<太城> ストーリー性を端的にハッキリいえるようになっておいてください。

<飯野> 今の流れで行くと非常にタイトなスケジュールで、案内文を出すにも、最低1か月前には出した方がいいと思います。

<小瀧> 講義の進め方を、もう少し考えた方がいいと思います。

<豊崎> 講演という形ですが、中身は講義と取っていただいて、グループに分かれて、コミュニケーションを取りながらの講義、大学の講義みたいなイメージです。聞いているだけの講演にはならないと思います。

<澤畑> 現実問題、200名来る中、想定はできますか。この議案は孫子の兵法をやるというのが強すぎます。内容をしっかり考えてください。あくまでも手法は最後にくるのでいいと思います。また、グループに分けて時間の問題や伝えたいことを伝えられますか。

- <豊崎> このグループ分けの手法は田中先生が実際にやられているやり方です。規模が100名や150名とバラバラではあるようですが、田中先生との打ち合わせをさせていただき、こちらの手法を採用させていただきました。もう一度、打ち合わせの時に200名規模ということで話し合いを致します。
- <鈴木> 会場図で人数に対しての席がかいてありません。人数と席数は合っていますか。
- <鈴木> この背景をみると孫子の兵法の理解に取れます。孫子の兵法を理解するのが、この例会ではないと思います。
- <豊崎> 言葉足らずでした。訂正します。
- <鈴木> ちなみに200名集まりますか。
- <豊崎> 集めます。
- <小瀧> 話を聞いていると補足が多いです。内容からやり直した方がいいと思います。
- <鈴木> 配布先をもうちょっと具体的にされた方がいいです。参加動員を簡単に200人と決めず、委員会で精査してもう一度人数を決めてもらった方がいいと思います。
- <豊崎> その他の参加動員方法を検討します。
- <須山> 豊崎局長は、この例会をとおしてだれに何を伝えたいですか。一言でお願いします。
- <豊崎> 市民に可能性を感じてもらいたいです。
- <須山> そこをもう少し考えてください。また、なぜ伝えたいですか。
- <豊崎> 眠っている人がいると思います。
- <須山> どうしてこの例会をやるのかが、ぶれてしまっているようにみえますので、自分なりに、しっかりと冷静に客観的に捉えていただいて背景目的に落とし

ていくことで、もう少しすっきり行くのではと思います。

協一 4 7月全国大会対話集会事業 開催計画並びに予算（案）

飯沼常任より資料の変更点に関して読み上げ

<小瀧> 文言の訂正をした方がいいと思います。主催者を日本J Cに直してください。

<須山> 特段ございません

協一 5 7月メディア例会 開催計画並びに予算（案）について

飯沼事務局長より資料の変更点の読み上げ

<鈴木> 当事者意識の欠如とは何ですか。

<飯沼> 現在、少子高齢化ということで、県外に就職した方が町に帰って来る確率や人数は半数以下です。自分の町のよさに気付いてないというところが大きいと思われます。背景として記載はしておりませんが、選挙率の低さをみても、自分たちが町を作っていくのだという意識が、まずもって低い、低いというより無いといっても過言ではありません。そのような方々に町の魅力に気付いて欲しい。自分たちが当事者となって動かなければ町作りはできない。という意識が欠如しているということです。

<中島> 飯沼事務局長、すごく熱弁を振るってらっしゃっていて、実はすごく的確なことで、皆納得したと思います。それをここに書くべきです。ここに記載すれば固まります。鈴木常任がおっしゃった経営資質の向上が法令会計とメディアの両方がある中で、背景の切り口が違うわけで。というより、逆に一緒でもおかしくはないと私は思います。一緒だからどうこうではないと思います。結局、手法は違って来るわけですから。ですから、今いていただいたことをまとめていただければ、OKだと思います。

<飯野> 講師が佐々木さんというのはいいと思いますが、ただ来て話していただくだけでは動員は、なかなか難しいのかと感じます。ただ話を聞くだけではなく、

手法等を工夫していただけるといいと思います。

<太城> 市議に立候補するとはじめて聞いたのですが、当選したら

<飯沼> 佐々木さんにつきましては直接面識のあるメンバーが話しておりまして、7月24日という日時もお伝えしています。予算については安くてもいいよと快諾はいただいております。

<鈴木> 講師例会になった理由を教えてください。

<飯沼> 経験のある方に、実体験をとおして説明していただくことが最良かというところでもあります。しっかり伝わるような手法をとり進めたいと思います。

<鈴木> 他にどのような手法があったのか教えてください。

<飯沼> 参考資料にもありますが、カードゲームをとおして町作りのとかあったのですが、検討した結果、今回の議案のテーマになりました。

<小瀧> 7月メディア例会と名うってありますが、何をもってメディアなのですか。

<飯沼> 理事会までに今回の事業に沿った事業名を設定します。

<中島> 地域のブランディングについて講演会を行うのが一番のポイントになると思うのですが、宮コンのそもそも開催するスタートする主意は、市内の活性化を目的に開催している。と書いてありますね。要はブランディングをするために作った事業ではありませんね。本当にこの方にブランディングを語れますか。不安定というか、疑問に思います。この点については、どうお考えですか。

<飯沼> この方は街コンだけではなく、花火大会の会長経験者、カクテルナイトの主催者側でもありまして、資源を形にして、いかに一つのことを作っていくのか、結果、ブランディングができていく。もちろん佐々木さんには我々の趣旨も十分に説明して、ご理解いただいた上で、内容を決めていただきます。話としては、地域のブランディングというところで話していただけると思います。

<澤畑> 法令会計例会と事業予算が一緒ですね。内容的にも似ていて、予算計画も、ほぼほぼ一緒ですが、動員計画で100人くらい違うのはどういう意味合いがありますか。

<飯沼> 次回までに対応します。

<鈴木> 考えて欲しいのですが、全国大会に向け、われわれもまだ使ったことのない会場を検討してみてください。

<飯沼> 直接的な関係性はないと思いますが、検討いたします。

<小瀧> もともと、意識の低い方々に講演をやっただけでは伝わらないということと、宮コンとか、佐々木さんの仕事の延長上ですよ。また、花火大会ももともとあったので、一から作ったものではないです。手法と講師を、もう少し考えて欲しいです。

<飯沼> 検討します。

<中島> アンケートをみると、検証になっていません。アンケートの内容を、見直してください。

<飯沼> 根本から見直します。

<須山> 正副からガラッと変えてきた理由はありますか。

<飯沼> 正副の時に芯がおっていなかったもので、検討を進めましたところ、このように変わりました。

<須山> 広報メディア戦略委員会のカラーに則したものにしなければいけないとおもいます。テーマを変えるのではなく中身を変えるか、元に戻すか、どちらかにした方がいいと思います。

協一6 9月宇都宮こどもダンスフィステバル例会 開催計画並びに予算(案)

羽石常任より資料の読み上げ

<亀井> 事業目的の文言が文章的におかしい気がします。見直しをしてください。

<羽石> はい。見直します。

<鈴木> 事業目的の対外の目標に向かうとは、何の目標ですか。

<羽石> 目標について、委員会で考えているのは二つあります。まずはこの事業に出場するという目標。もう一つは、出場し勝ち抜くという目標です。

<鈴木> それが、みずからが定めた目標ということですか。

<羽石> はい。そうです。

<小瀧> ダンスといえば、ヒップホップやストリートダンスが目立って来ますが、日本の伝統芸能とか、日本舞踊など、みる機会はあまりないので、そこに焦点を当てたのは素晴らしいと思います。

<飯野> 委員会としてどう考えているのかお聞きしたいのですが、コンテストで一位をめざして頑張りたいというのがやりたいのか、参加発表の場を幅広く集めてやりたいのか、何がやりたいのかが、幅広く取りすぎていて、みえづらいです。委員会として、主案はどこに置いているのでしょうか。

<羽石> 委員会として最終的にやりたいのは、希望に満ち溢れた町の宝を育成したいところにあります。いろいろなダンスの団体をお呼びしているのは、それを見て、こどもたちに何かをえてもらいたいと考えています。

<鈴木> なぜ、エキシビションとストリートダンスのコンテストと分けたのですか。ダンス事業であれば分ける必要はないと思います。

<羽石> 全てのジャンルを網羅した、審査員がみつからなかったというところです。

<鈴木> そうすると、レゲエ、ジャズ、ロック、ヒップホップの審査員は一緒なのですか。

<羽石> ストリートダンス協会と打ち合わせの上、やっております。

<鈴木> 審査員がいるとかいないとかでは、コンテストはやらなくていいと思います。それぞれが、それぞれの表現者ですよね。そこを、コンテストと発表で壁を作るのであれば、一切、壁を作らずに全部一緒に発表の場とするべきです。それが、JCとしての事業だと思います。そのあたりを、もう一度考えていただければと思います。

<羽石> 委員会に持ち帰り、事業の構築から検討致します。

<亀井> 目標の場所の提供というところで、去年の出場者で、また来年戻って来たいとかを目標にしている方がいるのかなと思います。そうなった時に、去年のアンケートを精査していただきたいです。また、開催場所ですが、参加者事前説明会の日時を合わせていただきたいと思います。

<須山> 新しい設え、新しい方を呼ぶので、いろいろシミュレーションを繰り返していただければと思います。

#### 14. 報告依頼事項

##### 報-1 2015年度 年間公式スケジュールについて

<金> 関東地区のスケジュールはまだ反映されておりませんので、理事会までには反映させていただきます

##### 報-2 2015年度 対外出向者について

<金> ご一読お願い致します。

##### 報-3 会費納入状況について

豊崎局長より資料の読み上げ

<金> もう一度、5名に対してのアプローチをお願いいたします。

##### 報-4 特別会員入金状況について

<金> ご一読ください

報－5 その他

<豊崎> 報告です。賛助会にコカ・コーラさんが入りました。J Cホームページにコカ・コーラさんのバナーを貼りました。ご確認ください。

15. 監事講評

<黒川>

皆さん、お疲れ様でございます。本日、拝見しまして、議案の精度ですね。どうにかしていただきたい。本来、会議を重ねて事案はよくなっていくわけで、意見が前の月と一緒だとか、サッカー大会と日程が被っているとか、脇が甘すぎるのではないかなと思います。そういったところを、この常任理事会構成メンバーの皆様には委員長や副委員長に落としてもらいたいです。本日は4月14日ということで、パートナーディということで、佐賀市が制定しているということで、皆さん、隣にJ Cのパートナーがいますが、是非この後、懇親の方を深めていただければと思います。以上、大変簡単ですが監事講評と代えさせていただきます。お疲れ様でした。

16. 閉会宣言

<金>

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2015年度 第3回 常任理事会議事録

議長：(専務理事) 金 克彦

議事録作成：総務委員会